



日本政策金融公庫と事業連携協定を締結

生駒市と株式会社日本政策金融公庫（以下、日本公庫）は、地域課題の解決に取り組む事業者「生駒版ローカル・ゼブラ企業※」の創出を促進し、社会課題の解決と地域活性化とを同時に実施するため、事業連携協定を締結します。

本協定により、生駒市がこれまで実施してきた創業支援の取り組みに、日本公庫が持つノウハウと金融支援を加えた包括的な支援パッケージを整え、新たな事業者の創出を図ります。

※ローカル・ゼブラ企業とは…ローカル・ゼブラ企業とは、事業を通じて地域課題解決を図り、域内企業等と協業しながら、新たな価値創造や技術の活用等により社会的インパクト（社会や環境に対する良い変化）を生み出しつつ、収益を確保する企業を指します（経済産業省 中小企業庁）。

■生駒市の創業支援の取り組み

本市は、地元における事業創出と雇用拡大を目指す「エコノミックガーデニング」を理念に掲げ産業振興を進めてきました。その理念の中核となる創業塾（ILBH・いこま経営塾・営業塾）は、創業者・第二創業者に対し地元金融機関の協力を得ながら支援してきました。

これまでに、延べ576名（下表参照）の方が卒業され、23名が創業されています。

<創業事例>

- ・女性活躍支援
- ・学校の先生を対象にした便利ツール
- ・ミニシアター（いこまめ座）
- ・地ビール開発 など

<創業塾の受講者>

	H28～R1（H31）	R2	R3	R4	R5	R6	合計
受講者数（名）	150	30	84	56	130	126	576

■生駒市と日本公庫が連携した支援パッケージ（連携融資商品）「i☆Fi（アイファイ）」

事業者への支援を強化し、新たな事業を活発に生み出しまちの賑わいや地域課題の解決につなげるため、新たに支援パッケージ「i☆Fi」を創設しました。

【マークに込めた想い】

i（アイ）：2人の人物をイメージしており、ILBH事業の象徴である事業者と支援者の対話、そして事業者との対話や相談に寄り添う、という2つの意味を表しています。

星（☆）：IKOMASTAR（イコマスター）の取り組みをはじめ、生駒市内に輝く星となる事業者をたくさん生み出したいという思いを込めています。

Fi（ファイ）：Finance（金融）を意味し、資金調達の支援を象徴しています。



■「i☆Fi(アイファイ)」による支援内容

- 1 参加者の取次：市の各プログラム（ILBH、IKOMASTAR、いこま産学官アクセラレーションプログラム、いこま SDGs アクションネットワーク）の趣旨に添う参加希望事業者を積極的に取り次ぐ
- 2 出講と職員の参加：市の各プログラムに日本公庫職員が講師として参加
- 3 個別相談：市内での定例相談日を開設し、事業計画をブラッシュアップ
- 4 融資商品の創設：「いこま版ゼブラ」事業者と認定した先を対象に、融資商品を創設
⇒これまでの創業の多くは、自己資金で設備投資を賄うケースが多かったが、新しい融資商品により、事業規模拡大の可能性を広げる
- 5 融資後の支援：セミナーや交流会等のイベントを市と共催。ネットワークづくりの実施など



この支援パッケージは、ILBH などの創業プログラムと連携し、事業者のアイデアの深掘りから計画策定、資金調達までを一貫して支援するものです。

■融資事例のイメージ

- 子育て世代の孤立を防ぐためのコミュニティカフェを運営したい創業者
 - 宝山寺の参道でインバウンド向けの宿泊施設を開業する事業者
 - 耕作放棄地を活用し、一般市民向けの体験農園を開設する事業者 等
- ⇒このような方々が「ILBH」に参加し相談を重ねながら事業計画をブラッシュアップし、「i☆Fi」を活用して資金を調達することで、事業を軌道に乗せることができます。

■株式会社日本政策金融公庫の概要

- ◇所在地：本店 東京都千代田区大手町 1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー
奈良支店 奈良県奈良市大宮町 7 丁目 1-33 奈良センタービルディング
- ◇事業：政策金融機関として、民間金融機関では対応しにくい創業者や中小企業に対してもきめ細かな金融支援を行っており、地域経済の活性化や地域の発展に貢献することを使命としている。

この件に関する報道関係からのお問い合わせ

商工観光課（岸本） ☎0743-74-1111(内線 2250)